

## 技術ノート KGTN 2010112501

### 現象

**SessionVerification** を 0 に変更したところ、セッションが切断されなくなった。切断の原因として、どんなことが考えられるか？

### 説明

**SessionVerification** が 1 の場合、GG クライアントは 30 秒毎に PING (要求) パケットを GG サーバへ送信し、GG サーバはこの 30 秒毎のパケットを受信すると、PING (応答) パケットを GG クライアントへ送信します。GG クライアントおよび GG サーバは、30 秒毎の PING (要求または応答) パケットが続けて 2 回相手から届かなかった時、通信障害が発生していると認識しセッションを切断します。

従って、原因としては 1) OS (Windows) の問題等により PING パケットを送信出来なかった、2) CPU の過負荷やスワップアウトの多発等により PING パケットの送信に著しく時間を要した、3) クライアント～サーバ間のネットワーク (機材) で障害が発生し PING パケットが配送されなかった、などが考えられます。

### 参考

ある案件では、特定のシステムのみセッションの切断が発生し、上記 3 が原因と推測されました。しかし、大規模なシステムということもあり、サービス開始までに障害の原因を特定することが出来なかったため、暫定処置として **SessionVerification** を 0 に設定して運用を開始しました。既に半年以上運用されておりますが、特に問題等は発生しておりません (注意: あくまでも事例の紹介であり、**SessionVerification** を 0 に設定しての運用を勧めるものではありません)。

Last reviewed: Nov 25, 2010  
Status: DRAFT  
Ref: KGTN#2010022401  
Copyright © 2010 kitASP Corporation